


平仮名に親しもう

目標：平仮名に興味を持つことができる。

時間	児童生徒の活動	指導上の留意点・教材
20	<p>1 「あ」、「お」、「か」の付く言葉を読む。</p> <p>① 「あ」の付く言葉の文字カードを見せながら教師が読む声を聞いて、まねる。 ・その言葉を5回読んだら、教師は文字カードを裏返してその言葉の絵を見せる。 ・「あ」が付く他の言葉も扱う (例)あし、あめ、あり、あさ、あき 等</p> <p>② 「お」「か」が付く言葉についても同様の活動を行う。 (例)「お」…おや、おす、おかし、おんな 「か」…かさ、かお、かみ、かい</p> <p>③ 教師が平仮名表を一文字ずつ順に指さす文字を見て、「あし」、「おや」、「かさ」などの言葉を読む。</p> <p>④ 文字カードを、「あ」、「お」がつく言葉のグループにカードを分ける。</p>	<p>・児童生徒にとって、身近で覚えて欲しい言葉を取り上げる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>★文字カード (裏に絵)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">あ し</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">  </div> </div> </div> <p>★平仮名表 (1 参照)</p> <p>・①、②で用いた言葉をもう一度全部読むようにする。</p>
10	<p>2 平仮名を表から探して読む。 教師が示す文字カードの文字を平仮名表の中から探して、教師と一緒に読む。 (例)おかし、しお、かさ 等</p>	<p>・五十音の中から探して、いくつか拾い読みさせる。</p>
10	<p>3 文字に合わせて手をたたきながら読む。</p> <p>① 文字カードに書かれた文字を読みながら文字の数だけ手をたたき教師を見る。</p> <p>② 文字カードに書かれた文字を教師と一緒に文字の数だけ手をたたきながら読む。 (例) 文字カードに書かれた「しか」を見て、「し」「か」と言うのに合わせて手を2回たたく。 ・じゃんけんが分かるようであれば、階段の上り下りゲーム等、活動を工夫する。</p>	<p>・国語の教科書を参考にする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>★国語の教科書</p> <p>低学年の教科書を使うことで自尊心を傷つけることのないよう、リライト教材にするなど配慮する。</p> </div> <p>・文字に合わせて手をたたかせることで、言葉を構成している文字の数に気づかせる。</p>
5	<p>4 画数の少ない平仮名を書く。 画数の少ない平仮名を選び、書き順を練習する。いくつかの文字の練習をする。 (例)い、う、く、こ、し</p>	<p>・上から下、左から右という基本をおさえる。</p> <p>★『たのしい1ねんせい』参照</p>

凡例：・留意点 ★教材